



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第108号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2016年10月15日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

第2回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権群馬県大会

2016年9月11日、桐生大学グリーンアリーナにおいて、『第2回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権群馬県大会』が開催されました。開倫塾が主催、群馬県ドッジボール協会が主管、後援として開倫ユネスコ協会が協力させて頂きました。また同様に後援団体としてみどり市、みどり市教育委員会などからもご協力を賜りました。さらに協賛していただきました学校法人様は、樹徳高等学校様・樹徳中学校様・樹徳幼稚園様、國學院大學附属中学校様、桐生大学附属中学校様、聖徳大学附属取手聖徳女子中学校様・高等学校様です。ご理解とご協力、ありがとうございます。

開会式では、みどり市市長のメッセージを同市教育長が代読、また、開倫塾塾長、開倫ユネスコ協会会長である林明夫より、開会のあいさつとして、『ドッジボールは不可能を可能にする、スポーツを通じたよき友との出会いがある・ルールがある中でプレーをすること』の大切さについて選手に向けたメッセージを伝えました。その後、地元の各地域代表者7名が円陣を組み、力強い選手宣誓を行いました。活気あふれる選手宣誓に大きな拍手が沸きおこりました。大会では36チームの選手が参加し、審判員の方々、監督・コーチの皆さん、応援席の保護者の皆さん、群馬県ドッジボール協会のスタッフの皆さん等、約1100名が集い、熱気と大きな声援に包まれた素晴らしい大会となりました。男女混合の部、女子の部、ジュニアの部のそれぞれで、予選リーグと決勝トーナメントが行われました。

また、午後(13:00~14:30)サブアリーナにおいて『親子レクリエーション教室』が開催されました。ここに参加された子どもたちは障害を抱えている方で、親がそばで見守ってくれています。ドッジボール大会での司会者もこなした、ワンクッション(お笑い芸人)がここでも楽しく盛り上げてくれました。



林明夫塾長



開会セレモニー



選手宣誓



すごい試合がいっぱい!



親子レクリエーション教室



ドッジボール日本代表メンバー



表彰式:メダル授与



優勝チーム

第7回クィーンズカップ

2016年9月24日(土)、足利市民体育館において、女性によるドッジボール大会『第7回クィーンズカップ』が開催されました。主催団体は、栃木県ドッジボール協会、関東地方郵便局長協会、開倫塾です。

このドッジボール大会の特徴は、出場選手も審判員もほとんどすべて女性によって運営される大会ということです。全国的にも大変珍しいドッジボールの大会です。

小学生の部には8チーム、一般の部には9チームがエントリーしました。この大会に出場するために新潟県、福島県、長野県、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、そして地元の栃木県から参加して開催されました。

選手や監督・コーチ、審査員、大会役員、応援の方々などで合計約500名が足利市民体育館に集い、熱戦がくり広げられました。

また、ドッジボール女子日本代表7名の選手も参加しました。開会式後、日本代表監督が7名を一人ひとり紹介しました。

試合は、予選リーグと決勝トーナメントが行われました。小学生のボールの速さもすごいです。一般の部の試合ではスピードのあるボールがビュンビュンと飛び交い、午前中の予選から文字通り手に汗握るすばらしい試合が続きました。午後の決勝トーナメントでも、一球で勝敗を分けるような接戦ばかりの好ゲームが続き、最終的に小学生の部での優勝チームは、「小江戸ガールズ」、一般の部での優勝チームは「OVER DRIVE」です。



開倫塾林明夫塾長



栃木県南部地区郵便局長会
足利南部会 瀬尾小代子部会長



選手宣誓



審判員と選手の皆さん



開会式の様子



さあ、試合開始!



一球入魂



小学生の部優勝: 小江戸ガールズ



女子日本代表メンバー



表彰式の様子



優勝メダルの授与



一般の部優勝: OVER DRIVE

第7回クィーンズカ
ップの様子は、10月5日
(水)NHKとちぎ640
で放映されました。